

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和3年11月24日

計画の名称	北九州港における安全で利用しやすい港づくり（地域活性化）																																	
計画の期間	平成27年度～令和元年度（5年間）					交付対象	北九州市																											
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風浪から船だまりの機能を確保し、物流の円滑化を図るため、安全で利用しやすい港づくりを行う。</li> <li>・安全で円滑な物流活動を確保するため、臨港交通施設の整備を行う。</li> <li>・市民ニーズ等多様な要請に対応した水際線づくりを進め、市民が気軽に港や海辺に親しみながら交流できる場を提供する。</li> </ul>																																	
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船だまりの港内静穏度を確保し、安全に利用できるよう、防波堤の延長を200m(R1d)増加</li> <li>・安全に利用でき、物流の円滑化を図る臨港道路の整備延長を1,800m(R1d)増加</li> <li>・緑地の整備率（面積）を6%増加 &lt;34% (H27d) ⇒ 40% (R1d) &gt;</li> </ul>																																	
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H27当初)</th> <th>中間目標値 (H29末)</th> <th>最終目標値 (R1末)</th> </tr> <tr> <td>① 防波堤の延長200m増加を目標とする。 防波堤の増加延長 = H27当初からR1d末までの整備延長</td> <td>0m</td> <td>100m</td> <td>200m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 臨港交通施設の延長1,800m増加を目標とする。 臨港交通施設の増加延長 = 平成27年度から令和元年度までの整備目標延長</td> <td>0m</td> <td>800m</td> <td>1,800m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 緑地の整備率（面積）6%増加を目標とする。 緑地面積増加率 = 計画期間の緑地整備面積 / 港湾計画上の緑地面積</td> <td>34%</td> <td>36%</td> <td>40%</td> <td></td> </tr> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (R1末)	① 防波堤の延長200m増加を目標とする。 防波堤の増加延長 = H27当初からR1d末までの整備延長	0m	100m	200m		② 臨港交通施設の延長1,800m増加を目標とする。 臨港交通施設の増加延長 = 平成27年度から令和元年度までの整備目標延長	0m	800m	1,800m		③ 緑地の整備率（面積）6%増加を目標とする。 緑地面積増加率 = 計画期間の緑地整備面積 / 港湾計画上の緑地面積	34%	36%	40%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																														
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (R1末)																															
① 防波堤の延長200m増加を目標とする。 防波堤の増加延長 = H27当初からR1d末までの整備延長	0m	100m	200m																															
② 臨港交通施設の延長1,800m増加を目標とする。 臨港交通施設の増加延長 = 平成27年度から令和元年度までの整備目標延長	0m	800m	1,800m																															
③ 緑地の整備率（面積）6%増加を目標とする。 緑地面積増加率 = 計画期間の緑地整備面積 / 港湾計画上の緑地面積	34%	36%	40%																															
全体事業費（実施）	合計 (A+B+C)	1,126 百万円	A	1,125 百万円	B	0 百万円	C	1 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.1%																							
事後評価（中間評価）																																		
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																																		
事後評価（中間評価）の実施体制						事後評価（中間評価）の実施時期																												
【実施体制】 北九州市港湾空港局港湾整備部計画課が事後評価を実施						令和3年度																												
【評価値の確認方法】 2名の学識経験者に意見聴取を実施						公表の方法																												
						北九州市ホームページに掲載																												
1. 交付対象事業の進捗状況																																		
交付対象事業																																		
A1 港湾事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）		継続/完了	進捗状況		備考													
											H27	H28	H29	H30	R1	計画	実施		着手済/全体	進捗度														
A1-1	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	建設	新門司北地区 東緑地整備事業	面積 A=0.55ha	北九州港 新門司北地区						17	22	継続	6/8	75%														
A1-2	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	建設	新門司北地区 北緑地整備事業	面積 A=2.4ha	北九州港 新門司北地区						350	4	継続																
A1-3	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	建設	響灘東地区 南緑地整備事業	面積 A=7.3ha	北九州港 響灘東地区						459	225	継続																
A1-4	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	建設	砂津地区 港湾緑地整備事業	面積 A=2.6ha	北九州港 砂津地区						980	106	継続																
A1-5	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	建設	響灘西地区 道路整備事業	道路整備 L=1,300m	北九州港 響灘西地区						289	56	継続																
A1-6	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	響灘西地区 防波堤整備事業	防波堤整備 L=200m	北九州港 響灘西地区						783	712	継続																
A1-7	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	建設	響灘東地区 道路整備事業	道路整備 L=500m	北九州港 響灘東地区						210	0																	
A1-8	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	建設	八幡地区 東田緑地整備事業	面積 A=1.8ha	北九州港 八幡地区						40	0																	
											小計（港湾事業）																							
											合計		3,128	1,125																				

C 効果促進事業																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） 上段:計画 下段:実施					全体事業費（百万円）		継続/完了	進捗状況		備考	
										H27	H28	H29	H30	R1	計画	実施		着手済/全体	進捗度		
C1-1	施設整備	内地	北九州市	直接	—	情報板整備	案内情報板の整備	案内板3基	北九州港新門司北地区						5	0		1/3	33%		
C1-2	施設整備	内地	北九州市	直接	—	情報板整備	案内情報板の整備	案内板2基	北九州港響灘東地区					4	1	完了					
C1-3	活動支援	内地	北九州市	直接	—	情報板整備	案内情報板の整備	案内板3基	北九州港砂津地区					5	0						
合計														14	1						

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C1-1	港湾事業（A1-1）（A1-2）と一体的に案内板を整備し、施設の利用者の増加や利便性の向上を図るとともに、施設に関する理解や関心の向上を図る。	
C1-2	港湾事業（A1-3）と一体的に案内板を整備し、施設の利用者の増加や利便性の向上を図るとともに、施設に関する理解や関心の向上を図る。	
C1-3	港湾事業（A1-4）と一体的に案内板を整備し、施設の利用者の増加や利便性の向上を図るとともに、施設に関する理解や関心の向上を図る。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況 1

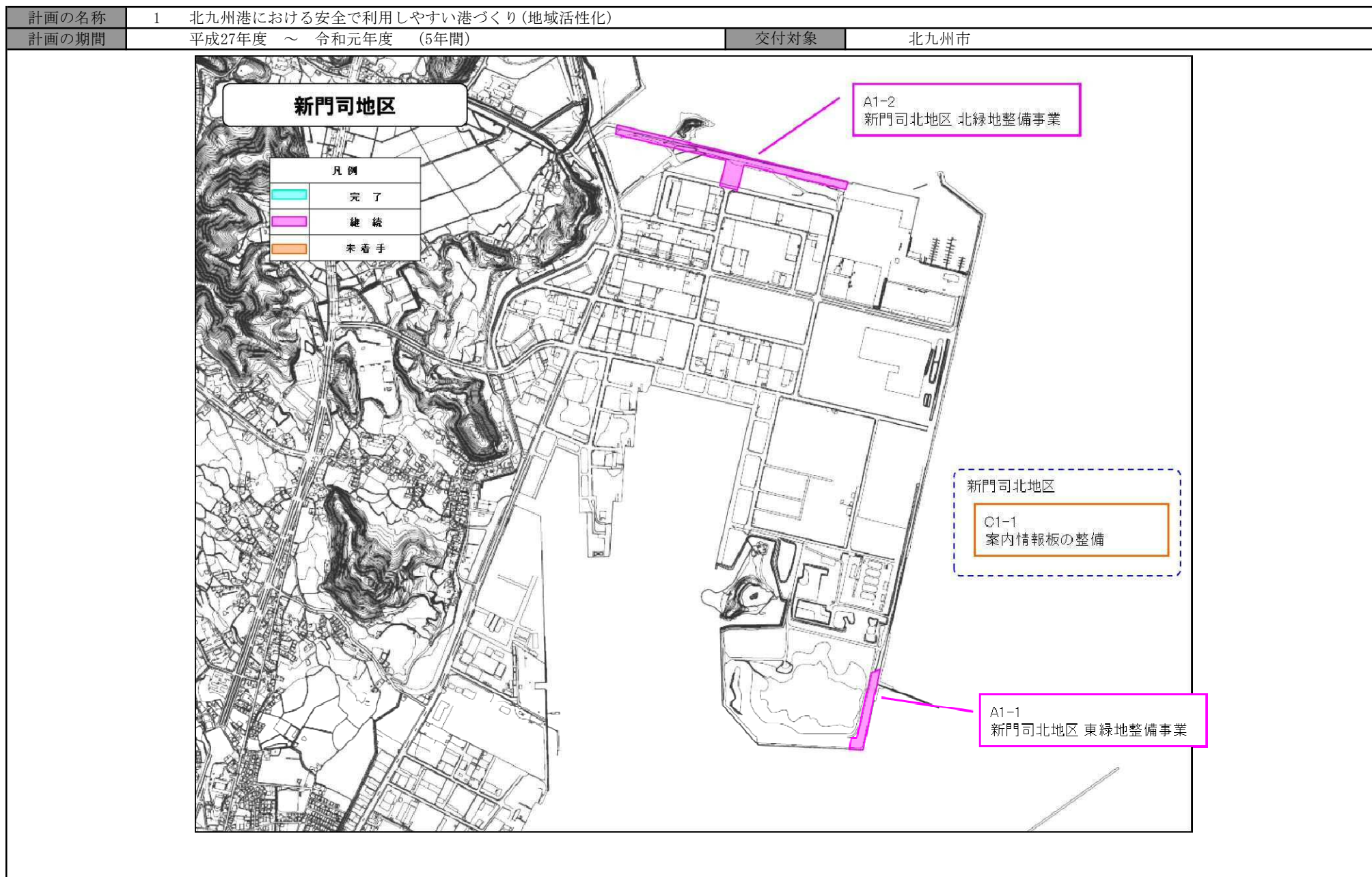
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	指標① 完了には至らなかったが、計画的に事業は進捗している。 指標② 安全に利用できる臨港道路の整備により、響灘西地区への更なる物流企業進出の足掛かりとなる等、一定の効果を上げた。 指標③ 港湾緑地の整備により、市民が交流できる魅力ある港湾空間が創出された。
--------------------------------	---

II 定量的指標の達成状況	指標①（防波堤の増加延長）	最終目標値	200 m	目標値と実績値に差が出た要因	本事業の目的は、船だまりの静穏度確保であるが、設計段階における詳細検討において、当初想定していた防波堤の構造が大きく変わり、総事業費及び工期が増となったため。
		最終実績値	38 m		
	指標②（臨港交通施設の増加延長）	最終目標値	1,800 m	目標値と実績値に差が出た要因	企業誘致のタイミング等による影響で目標延長は達成できなかったが、道路整備が完了したエリアにおいては、物流の円滑化が図れ、物流企業への分譲の動きが進むなど一定の成果を上げることができた。
		最終実績値	318 m		
	指標③（緑地面積の増加率）	最終目標値	40 %	目標値と実績値に差が出た要因	周辺の企業就労者等の緑地利用状況や市民ニーズ等を踏まえ、限られた予算の中で優先順位を付け、緑地整備を実施したため。
		最終実績値	36 %		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	・新門司北地区東緑地において、緩衝緑地を整備したことで、高潮に対する防護機能強化が図れた。
--	---

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・船だまりの安全を確保するため、防波堤整備の早期完成を目指す。
- ・企業誘致のタイミングに合わせ、引き続き、安全で円滑な物流機能を確保するため、臨港交通施設等の整備を進める。
- ・緑地整備については、周辺の利用状況や市民ニーズ等を踏まえ整備時期を検討しつつ、市民が気軽に港や海辺に親しみながら交流できる場を提供する。



計画の名称	1 北九州港における安全で利用しやすい港づくり(地域活性化)	交付対象	北九州市
計画の期間	平成27年度 ~ 令和元年度 (5年間)		



計画の名称	1 北九州港における安全で利用しやすい港づくり(地域活性化)	交付対象	北九州市
計画の期間	平成27年度 ~ 令和元年度 (5年間)		



計画の名称	1 北九州港における安全で利用しやすい港づくり(地域活性化)	交付対象	北九州市
計画の期間	平成27年度 ~ 令和元年度 (5年間)		

